

教科名	理科	科目名	生物	学年	2年	単位数	2
教科書	生物（東京書籍）		副教材	リード light ノート生物（数研出版）			

1 科目の目標

生物や生命現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して。生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

2 学習について

① 予習・復習の方法

予習：教科書等を確認し、その分野に関連するトピックスについてインターネットや書籍等で調べる。

復習：授業を通して、理解できたこと、分からなかったところをワーク等に取り組みることにより明らかにする。

② 授業における学習方法

生物の授業において必要なことは興味・関心をもって授業に臨むことである。事前に分野と実生活の関わりについて自分なりに調べ、疑問点を明らかにしておくことよい。

③ 家庭学習のポイント等

語句の丸暗記に終始しては科学的なものの見方や思考力は身につかない。多くの演習問題に取り組み、文章やデータを読み取る練習をすること。また、日常的にニュース等で学習項目に関連する内容を探し、社会的な課題に関して自分なりの考えをもっておくことが大切。

3 学習計画

考查		単元名（学習項目）	学習内容（ねらい）
前期	前期中間	<生物の進化> ・生命の起源と細胞の進化 ・遺伝子の変化と進化の仕組み	・生命の起源、地球環境の変化と細胞の進化について理解する。 ・交配実験の結果などの資料に基づいて、遺伝子の組み合わせが変化することを理解する。
	前期期末	・生物の系統と進化	・遺伝子情報の変化が、どのように生物の進化に結びつき、生態系とのかわりによって現生態系が構成されたのかを探究的に理解する。 ・生物の系統と進化についての特徴を観察等によって見出す。
後期	後期中間	<生命現象と物質> ・細胞と分子 ・代謝	・生体物質と細胞に関する資料、タンパク質に関する実験観察などを通して生体物質の機能を生命現象と関連付けて学ぶ。 ・呼吸と光合成について実験・観察を通して探究し、生態系でのエネルギーの流れを総合的に理解する。
	学年末	<遺伝情報の発現と発生> ・遺伝情報とその発現	・DNAの複製の仕組みを資料に基づいて探究的に学ぶ。 ・DNA情報の発現の仕組みとそれらの発現の仕方によって細胞に多様性が生じることを理解する。

4 観点別評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本的な技能を身に着けている。	観察、実験などを行ったり、与えられた資料を分析するなどして、科学的に探究する力を身に着けている。	生物や生命現象に主体的にかかわり、科学的に探求しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を身に着けている。

5 評価方法

計70時間（50分授業）

上記の観点を踏まえ、授業に取り組む姿勢、定期考査・課題考査における成績、実験観察における態度や発表とレポート、提出された課題に対する取り組み具合を以下の割合で総合的に評価する。

知識・技能…40% 思考・判断・表現…30% 主体的に学習に取り組む態度…30%

